

おにぎりたいたい

柏だいの三小学校 一年 まえだ けんた

ぼくは、しおおにぎりがだいすきです。ま
いあさ、がっこうへいくまえに、しおおにぎ
りをたべています。おにぎりをたべると、お
なかがあたたかくなって、ちからがでてしま
す。おやすみのひには、ぼくがじぶんでつく
ることもあります。いもうとがおいしいとい
つてくれると、とてもうれしくなります。

あるひ、おかあさんがいいました。

「おじいちゃんがつくったおにぎりも、いが
いとおいしいんだよ。」

ぼくは、みんながつくったおにぎりもたべ
てみたくなりました。そこで、かぞくでおに
ぎりづくりたいたいかにすることになりました。

しんさいんはぼくです。ぼくはまず、三ツご
うのおこめをとぎました。ときどきおてっだ
いをするので、とぎかたはとくいです。ーじ
かんとって「ピー。」とおこめがたけたおとが
しました。おにぎりたいたいのスタートです。

さいしよは、いもうとがつくったおにぎり
です。ちいさいおててのがたちをしていま、
とてもやわらかいおにぎりでした。つぎは、
ぼくがつくったおにぎり。さんかくのかたち
をしていておいしかったけれど、すこししよ
っぱかったです。

おばあちゃんがつくったおにぎりは、さん
かくおにぎりです。わらかさとしおかげんが
ちようどよくて、一ばんおいしかったです。
おじいちゃんがつくったおにぎりは、しおが

すこしおおすぎました。いつもたべているお
かあさんのおにぎりは、一ばんほかほかだっ
たけれど、のりがおおすぎました。

みんなのおにぎりをたべおわるころには、
ぼくのおなかはおにぎりです。ぱいになりま
した。いもうとのおにぎりは三ばんめにおい
しかったけれど、一ばんおいしかったよとい
つたら、ここにこよろこびました。

つぎは、おとうさんがつくったおにぎりも
たべてみたいです。どんなあしがするのがた